



糸魚川市立糸魚川小学校

学校だより 第1号

令和7年4月25日

TEL:025-552-0042 FAX:025-552-1304 E-mail:itosyo@itoigawa.ed.jp

(HP)<https://www.itoigawa.ed.jp/itosyo/>(携帯)<http://itoigawa.ed.jp/itosyo/otayori/i/>

ちがった〇〇 集まって 大きな力に (始業式の講話から)

校長 富永 浩文

どんなに厳しい冬であっても、やがて季節は移ろい、花咲く春は確実にやってきます。日脚伸び、糸魚川小学校にも、心ときめく希望の春がやってきました。4月8日、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。子どもたちは、満開の桜に祝福されながら、上向き加減の、やる気みなぎる表情で登校してきました。翌日の入学式では、39名の1年生が仲間入りし、329名での令和7年度がスタートしました。様々な個性、長所をもった子どもたちが、安心して力を伸ばしてほしい、その力を結集して、素晴らしい学級、学年、そして、幸せな学校をつくってほしい、という願いを込めて始業式のお話をしました。(以下校長講話の概略)

皆さんの進級をお祝いするかのよう、学校の桜の花は満開です。皆さんは、学年が一つずつ上がって、どんな一年が始まるか、ワクワク、ドキドキしていることでしょう。

新しい学年がスタートするにあたり、皆さんにお願いがあります。それは、自分と他の人の「違い」を認め、大切にしてほしいということです。学校では、色々な人と一緒に生活します。体型、性格、好みなど、様々です。新1年生39名を加え、全校329人いれば329通りです。違って



2年生と1年生 仲良く学校探検

当たり前です。こうした違った個性や考えが合わさると、大きな力になるのです。

全国各地にあるお城の多くは、土台となる石垣の上に立っています。その石垣の石は、一つ一つ、形や大きさが違ってきます。どの石もなくてはならない大切な石です。大きな石、小さな石、角張った石、丸い石、それが組み合わさって、丈夫な土台となって支えています。レンガのように、同じ形や大きさの石の積み重ねは、意外と弱くもろいのです。

皆さんも、一人ひとりがかけがえのない大切な存在です。お互いに違いや良さを大切にして、認め合い、協力し合えば、ちょっとしたことでびくともしない石垣ができます。そして、みんなで考え、アイディアを出し合えば、素晴らしいお城を築くことができます。皆さんにとっては、それが学級であり、学年であり、学校であるのです。

いろいろな個性がひしめき合い、美しく輝く、素敵な学級、学年をつくってください。その取組が、幸せな学校づくりにつながります。一緒に頑張りましょう。

ある筆記用具会社の企業広告に、次のような言葉を見つけました。「正解はたくさんある、が、きっと正解だ。」ちがった考えや答えを、安心して、当たり前に関わり合い、認め合える、そんな寛容な教室、家庭、社会を目指していきたいものです。今年度もよろしくお願いいたします。